

# 防災無線整備完了

平成23年度決算を全会一致で認定

## 一般会計

歳入 **77億6,082万円**  
(78億9,534万円)

歳出 **75億163万円**  
(73億4,600万円)  
( )は22年度

### 主な事業

#### (総務費)

- 生活路線代替バス運行費負担 330万円
- タクシー利用助成事業 653万円
- 長野県議会議員選挙 510万円

#### (民生費)

- 子ども手当給付費 3億2,682万円
- こども医療費給付費 2,762万円

#### (衛生費)

- 一般廃棄物収集運搬委託 2,054万円
- 一般廃棄物処理業務委託 7,397万円

#### (農林水産業費)

- まちづくり交付金事業(しゃくなげ公園) 3,351万円
- まちづくり交付金事業(水路改良) 9,710万円

#### (商工費)

- 工業振興奨励補助金 3,564万円
- 龍神まつり補助金 650万円

#### (土木費)

- 龍神の杜公園安全安心対策工事 3,084万円
- まちづくり交付金事業(道路改良) 4億8,483万円

#### (消防費)

- まちづくり交付金事業(緊急告知システム) 9,595万円

#### (教育費)

- 中学校建設工事 3億2,030万円
- 北小学校給食棟改修工事 1,121万円
- 南小学校給食棟改修工事 1,154万円

## 特別会計

歳入 **34億6,868万円**  
(36億3,160万円)

歳出 **32億9,077万円**  
(34億7,075万円)

単位：万円

会計名	歳入	歳出	差引(繰越)
住宅新築資金等貸付事業	1,010	1,009	1
小沼地区財産管理	372	330	42
国民健康保険	159,722	148,463	11,259
小沼地区簡易水道事業	12,140	10,719	1,421
御代田町簡易水道事業	8,617	7,886	731
公共下水道事業	60,651	59,243	1,408
御代田財産区	1,338	1,267	71
介護保険事業	88,815	86,497	2,318
農業集落排水事業	3,058	2,825	233
個別排水処理施設整備事業	1,138	1,068	70
後期高齢者医療	10,007	9,770	237

# 第三回定例会

9月定例会は9月7日に招集され、18日までの12日間の会期で開催された。専決事項の報告3件、条例案3件、決算の認定12件、予算案10件、報告1件の町側から提出された議案29件を原案どおり承認・可決した。

## 質疑

**Q** そば耕作者補助金45万6千700円の実績は。

**A** 86戸が出荷した2万2千783・5kgに対し、1kg当たり、200円の補助金である。22年度と比べ、種の配布量で10・2%増の680kg、収穫作業受託面積は25%増の20ha、出荷量は83・2%増の2万2千902kgとなっている。

出荷量が大幅に増加した理由は、作付け面積の増加と、発芽率が良かったことである。

また、そば耕作補助金は耕作放棄地の解消も狙いとしており、その解消面積は把握している分で、23年度は1.85haで、前年より0.85ha増となっている。



そばの収穫

**Q** 住宅リフォーム補助金の実績と経済効果は。

**A** 申請件数124件、うちリフォーム中止による取り下げが3件。リフォーム内容は、外壁20件、屋根10件、窓が8件、浴室・台所がそれぞれ3件、その他トイレや畳など、これら複合のリフォームが64件など多種多様なリフォームが施工された。

経済効果は、交付した補助金の合計額1千966万円に対し、1億3千754万7千円のリフォームが実施され、約7倍の効果があったと考えている。町内登録業者は個人経営を含め34件となっている。

**Q** 新規就農総合支援事業補助金538万4千円と産地再生関連施設緊急整備事業交付金3千342万5千円は、100%国・県補助で行なわれるが事業内容は。

**A** いずれも事業主体は有限会社トップリバーである。新規就農者の育成や農業者の能力向上を通じ、地域農業のリーダーとなる人材育成を図るための教育を目的とし、教育計画策定委員への謝礼、会議、専門員設置と謝金、技能者の給与、消耗品等で510万6千円、総事業費538万4千円で全額国の補助となる。

産地再生関連施設緊急整備事業交付金は、円高による緊急輸入急増や異常気象

等による品質低下等の影響を受け、生産及び販売環境が厳しい状況にある国産農畜産物について、産地の農業生産の維持、発展を図ることを目的に、集出荷貯蔵施設が対象となる。

集出荷施設59・82㎡と予冷施設35・5㎡を建設する予定である。総事業費7千19万2千500円の計画で3千342万5千円が補助金である。

**Q** 役場庁舎整備基金積立金2億円とあるが、最終的にいくらぐらいまで積み立てるのか。

また庁舎改築等検討委員会から提言が出されたが今後の検討予定は。

**A** 平成23年度末で8億円。今回2億円積み増しをして24年度末で約10億円の積立になる。目標額は定めていないが今後、変動していく状況ではある。

検討委員会は、昨年7月より、議会の代表4名と町側で検討してきた。その中で、機能を重視したシンブルな構造の庁舎建設が妥当であろう、という提言をした。

町民の皆さんを交えた委員会を立ち上げ、第1回目の会議を7月31日に開催し、庁舎整備の基本的な考え方、現状、スケジュール等について説明した。

2回目の会議を9月18日予定している。この2回目の中では、耐震診断結果を踏まえた中で、庁舎を改修していくのか、新たに建て替えるのか、判断し、方向づけをしていたく予定である。

この検討委員会は今後、会議・視察研修を含めおむね5回から6回くらいを開催して最終的な方向づけで答申する。